

2023年度「重症難病患者コミュニケーション支援講座」のご案内

ALSなどの神経難病へのコミュニケーション支援について、基礎知識と支援機器の操作体験をまじえた講習会です。機器の基礎的な使い方から、導入方法、入力スイッチの適合など、支援に必要な知識の伝達を行います。また、新しい視線入力機器など最新の情報も得られます。

患者本人、家族、セラピストや看護師などの医療職、介護職の方、患者さんに関わる、あるいはこれから関わろうとする支援者の方にぜひ知っていただきたい内容です。

日時：2023年11月25日(土) 9:00~16:00
2023年11月26日(日) 9:00~15:30 *2日間とも同じ内容

参加費：1,000円(日本ALS協会会員は無料)

会場：独立行政法人国立病院機構宮崎東病院 大会議室 小会議室

主催：日本ALS協会宮崎県支部



<内容> 大会議室 ~全体研修会会場~

8:00 集合・会場設営

8:30 受付開始

8:55 連絡注意事項説明

9:00 開会の挨拶 / 研修会の流れ説明

9:10 ~ 11:15

<第一部> 講師：YIC リハビリテーション大学校
濱本 尊博 先生

重度障害者へのリハビリテーション
コミュニケーション支援を中心に

11:20 ~ 11:35

宮崎県のALS患者の在宅療養支援について
日本ALS協会宮崎県支部
事務局長 米田 智恵美

11:35 ~ 12:00

出席者 紹介 / 全体写真撮影

12:00 ~ 13:00 昼食休憩(各自で準備)

13:10 ~ 14:20

<第二部> 講師：ダブル技研(株) 西日本営業所
吉本 真一郎 先生

意思伝達装置・入力スイッチの種類と選定
利用できる公費制度、その他 支援機器について
最近のトレンドや機器の紹介

14:30 ~ 15:40

<第三部> 講師：(株) オレンジアーチ
中西 啓雄 先生

重度障がい者用意思伝達装置「eeyes」紹介

16:00 終了

<内容> 小会議室 ~個別相談会場~

- ◆視線入力装置に興味がある方
- ◆導入を具体的に検討されている方
- ◆各種スイッチや意思伝達装置の導入でお困りの方
- ◆実際の機器の具体的な導入方法や使用方法を知りたい方

講師の先生方の隙間時間を使って個別相談できます。まずは、一日目の研修を受けた上で、2日目に相談すると、実際の患者様情報を共有しながら、より良い相談になると思います。

<講師紹介>

★学校法人YIC学院 専門学校YICリハビリテーション大学校
作業療法学科 専任教員 濱本 尊博(はまもと たかひろ)氏

【所持資格】作業療法士、健康福祉学修士、3学会合同呼吸療法認定士、
呼吸ケア指導士、認知症ケア専門士

2010年~2015年まで神経難病の専門病院に勤務。主にALS患者を専門に担当する。その後、2016年~現在まで、山口県難病相談支援体制整備事業 難病対策地域協議会の委員として難病医療従事者および難病患者のサポートを行う。現在は、養成校の教員として作業療法士を養成し、定期的に難病の家族会に参加し、ボランティア活動を行っている。

★ダブル技研(株) 吉本 真一郎(よしもと しんいちろう)氏

20才より7年間 福祉用具貸与を行いながら、コミュニケーション機器の支援に従事。その後、ダブル技研へ転職 現在4年目。オレンジアーチは日本で発売されている意思伝達装置の全てを取り扱っている企業であり、多数のスイッチの紹介も行っている。

★(株) オレンジアーチ 中西 啓雄(なかにし ひろお)氏

神奈川在住(山口県生まれ) シャープ株式会社にて情報機器の営業、販売、商品企画を歴任。2010年で定年退職。その後、IT関連会社の顧問を経て2019年現(株) オレンジアーチにて意思伝達装置「eeyes」の広報担当。大学、病院、介護施設等での説明会実施中。

<お問い合わせ先> 日本ALS協会宮崎県支部 事務局長：米田 智恵美

TEL：090-7448-3721 E-mail：miyazaki.als@gmail.com